

地域包括支援センターの運営状況について

令和3年度 白岡市地域包括支援センター 実績報告書

～総合相談業務～

ぽっかぽか	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	76	114	146	89	51	27	33	59	39	45	61	44	784
来所	9	5	13	10	2	4	10	8	5	3	6	8	83
訪問	15	24	30	25	11	4	21	28	24	15	32	27	256
その他(文書等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	100	143	189	124	64	35	64	95	68	63	99	79	1,123
ウエルシア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	10	16	13	11	5	10	6	5	9	6	4	6	101
来所	16	14	23	22	18	12	19	6	6	12	15	13	176
訪問	19	24	21	22	22	18	21	20	33	27	16	18	261
その他(文書等)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	45	54	57	55	45	40	46	31	49	45	35	37	539
合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	86	130	159	100	56	37	39	64	48	51	65	50	885
来所	25	19	36	32	20	16	29	14	11	15	21	21	259
訪問	34	48	51	47	33	22	42	48	57	42	48	45	517
その他(文書等)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	145	197	246	179	109	75	110	126	117	108	134	116	1,662

～成年後見制度～

ぽっかぽか	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
成年後見相談(実)	1	1	1	2	0	0	0	1	1	1	1	1	10
成年後見相談(延)	2	3	4	6	0	0	0	7	8	4	1	3	38
ウエルシア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
成年後見相談(実)	1	2	4	3	1	2	2	3	0	0	0	1	19
成年後見相談(延)	1	2	12	9	1	3	2	5	0	0	0	2	37
合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
成年後見相談(実)	2	3	5	5	1	2	2	4	1	1	1	2	29
成年後見相談(延)	3	5	16	15	1	3	2	12	8	4	1	5	75

～介護予防計画作成業務～

～介護予防支援業務～

ケアプラン 作成件数	ぽっかぽか	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	直営	40	40	39	40	37	35	37	38	51	49	52	53	511
	委託	44	44	44	49	48	49	49	44	36	40	33	35	515
	合計	84	84	83	89	85	84	86	82	87	89	85	88	1,026
ケアプラン 作成件数	ウエルシア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	直営	22	21	23	24	24	20	21	25	23	24	23	25	275
	委託	62	60	60	58	58	61	68	69	73	72	74	71	786
	合計	84	81	83	82	82	81	89	94	96	96	97	96	1,061
ケアプラン 作成件数	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	直営	62	61	62	64	61	55	58	63	74	73	75	78	786
	委託	106	104	104	107	106	110	117	113	109	112	107	106	1,301
	合計	168	165	166	171	167	165	175	176	183	185	182	184	2,087

～介護予防ケアマネジメント業務～

ケアプラン 作成件数	ぽっかぽか	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	直営	24	22	23	23	21	22	21	22	23	25	27	26	279
	委託	11	9	10	12	14	13	12	11	11	13	10	11	137
	合計	35	31	33	35	35	35	33	33	34	38	37	37	416
ケアプラン 作成件数	ウエルシア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	直営	18	21	16	16	16	20	20	17	21	19	17	15	216
	委託	49	52	51	52	52	52	54	51	52	51	55	56	627
	合計	67	73	67	68	68	72	74	68	73	70	72	71	843
ケアプラン 作成件数	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	直営	42	43	39	39	37	42	41	39	44	44	44	41	495
	委託	60	61	61	64	66	65	66	62	63	64	65	67	764
	合計	102	104	100	103	103	107	107	101	107	108	109	108	1,259

令和3年度 収支決算報告書

(白岡市地域包括支援センターぽっかぽか)

歳入

(単位:円)

項目	金額	説明
受託事業収入	24,068,200	地域包括支援センター運営受託料、認定調査委託料、住宅改修理由書作成料
介護予防支援収入	3,728,287	介護予防プラン作成料、ケアマネジメント費(総合事業)
サービス活動外収入	168,095	普通預金利子、退職金共助会
計	27,964,582	

歳出

(単位:円)

項目	金額	説明
人件費	23,800,627	
事業費	0	
事務費	4,890,992	事務消耗品費、賃借料、通信運搬費、手数料等
減価償却費	0	
サービス活動外支出	0	
計	28,691,619	

(白岡市地域包括支援センターウエルシアハウス)

歳入

(単位:円)

項目	金額	説明
受託事業収入	23,717,141	地域包括支援センター運営受託料
介護予防支援収入	2,358,396	介護予防プラン作成料、ケアマネジメント費(総合事業)
サービス活動外収入	514,136	
計	26,589,673	

歳出

(単位:円)

項目	金額	説明
人件費	21,777,396	
事業費	2,577,503	賃借料、光熱水費、消耗品費、保守料、交通費、車両費
事務費	1,346,814	システム費、通信費、事務用品費、荷造運賃、リース料(複合機・PC・車両・家具)
減価償却費	17,080	
サービス活動外支出	290,568	清掃費、警備費、保険料、雑費
計	26,009,361	

地域包括支援センターの概要

地域包括支援センターは、地域住民が住み慣れた地域で、安心して尊厳ある生活を継続することができるよう、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助・支援を行うことを目的として、当市では、圏域ごとに1か所ずつの地域包括支援センターを設置しています。

地域包括支援センターには、介護保険法に規定される基準に従い、保健師等、主任介護支援専門員、社会福祉士等の専門職を配置し、職員全員が連携して知識や技能を結集し、「チーム」として総合的に高齢者を支えます。

地域包括支援センターは、地域の高齢者の暮らしや健康などを支援するための総合相談窓口として、その役割はさらに重要度を増してきています。

1 地域包括支援センター実施体制

名 称	白岡市地域包括支援センター ぼっかぼか	白岡市地域包括支援センター ウエルシアハウス
運営主体	社会福祉法人 大樹会	ウエルシア介護サービス株式会社
所在地	白岡市上野田357番地1	白岡市白岡1143番地1
担当圏域	日勝圏域	篠津・大山圏域
担当地域	岡泉、実ヶ谷、千駄野、 小久喜、上野田、下野田、 爪田ヶ谷、太田新井、彦兵衛	篠津、野牛、高岩、新白岡、寺塚、 白岡、白岡東、西、柴山、荒井新田、 下大崎

2 地域包括支援センターの業務内容

(1) 介護予防ケアマネジメント業務

高齢者自身が地域における自立した日常生活を送ることができるよう適切なアセスメントを実施し、利用者の状況を踏まえて設定した目標を達成するために必要な介護予防・生活支援サービス事業等を利用していくケアプランを作成します。

(2) 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状態や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス等の利用につなげる支援をします。

(3) 権利擁護業務

高齢者に対する虐待の防止及び早期発見のための取組や判断能力が低下した高齢者を支援するための相談、成年後見制度についての情報を提供します。

(4) 包括的・継続的マネジメント業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、様々な関係機関とのネットワークづくりを推進するとともに、市内のケアマネジャーに対し、資質の向上を目的とした研修会の実施や困難事例等に関する相談・助言等の支援をします。

(5) 地域ケア会議

包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のために、介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者により構成される「地域ケア会議」を開催します。

また、高齢者一人一人が、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように支援する「自立支援型地域ケア会議」を開催しています。

(6) その他

ア 在宅医療・介護連携推進事業として、医療機関と介護事業所等の多職種と連携を図ります。

イ 認知症総合支援事業として、認知症初期集中支援チームとの連携、認知症ケアパスの普及、オレンジカフェ（認知症カフェ）の運営支援などを行います。

また、認知症施策を推進するための取組として、認知症高齢者声かけ模擬訓練や認知症サポーター養成講座を開催します。

ウ 生活支援体制整備事業として、生活支援サービスの充実に関する第1層協議体に構成員として参加し、生活支援サービスの構築に向けた協議を関係機関等と連携して行うとともに、第2層生活支援コーディネーターを配置し、事業の推進を図ります。

エ 担当圏域内の高齢者の見守りや配食サービス事業の調査業務を行います。

また、市と連携し、地域包括支援センターの適切な運営に必要な業務を行います。

3 地域包括支援センター業務委託料

令和4年度当初予算 48,000,000円

(24,000,000円×2か所)

令和4年度白岡市地域包括支援センターぽっかぽか

事業計画書

1 基本方針

地域包括ケアシステム推進の中核的な機関とし、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持したその人らしい生活が継続できるよう、地域包括支援センターの機能強化を図り、関連機関のネットワーク連携を行っていきます。生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症総合支援事業等、市、高齢課と協働し地域共生社会への構築を図っていきます。

2 介護予防・日常生活支援総合事業

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により地域での活動が滞る1年となりました。

その中でも包括支援センターの役割を止めることなく地域との繋がりを持ち、高齢者は活動の場や機会を渴望というニーズを抽出しオレンジ保健室の開催や徐々に活動再開を始めたサロンへ出向き出前講座や予防運動等を行い包括支援センターの役割の啓発活動を実施しました。

本年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着き、日常を取り戻していく事を期待しながらも、油断せずに感染予防対策を講じながら介護予防（フレイル予防）・オレンジ保健室・サロン等に取り組んでいき、高齢者が集い・参加が行える環境を作り支援してまいります。特にオレンジ保健室については昨年度は好評でありましたが、移動手段がないため参加を断念した高齢者もいたことから、開催場所や送迎・回数・参加方法等を整えていきたいと思っております。

また、地域課題解決のため、地域ケア会議を充実させ地域の実情に応じた社会をつくる事で社会資源や住民のニーズ、地域課題を把握し、支えての裾野を拡げて重層的なサービスが提供できるよう、生活支援コーディネーターの配置を行い、生活支援体制整備事業の推進を図ってまいります。

3 包括的支援事業

昨年同様に令和3年度の相談件数も1000件を超えた事から新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられますが、同時に多くの住民の方に広く包括支援センターが相談、支援の場所として周知できているのではないかと感じております。

令和4年度は「白岡市第2地域福祉計画」として白岡市成年後見サポートセンター運営協議会が活動するにあたり、包括支援センターとしても権利擁護業務の推進にとらえ、社会福祉協議会と連携等、各機関と連携を深め権利擁護業務の推進を図ってまいります。

また、包括主催で地域ケア個別会議を開催し、地域ケア会議を充実する事で地域ごとの必要としている支援を知り、生活支援体制整備事業の実施・実行する事に繋がり、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活の支援を構築できると考えております。

4 その他

令和3年度は相談件数が多く、内容として、新型コロナウイルス感染症の影響からの心身機能の低下による日常生活での不安が多くありました。

自粛により、地域との繋がりが気薄となる事で、高齢者への体調の変化や認知症の進行、自宅での移動の障害等の問題が、近隣や数年ぶりに会った家族からの気づきがあり包括への相談に繋がり、介護保険サービスの利用、受診等の支援に繋げる事ができました。

今年度も医療・介護の連携を行い、高齢者のみに留まらず家族の支援（80-50 問題等）も視野に入れ、今後の社会保障のあり方である地域共生社会・多元的社会実現に向け、高齢介護課、福祉課等、横とのつながりを強化し総合的に問題解決できる場所としての地域包括支援センターを目指してまいります。

地域包括支援センター ウェルシアハウス

R4事業計画 重点課題と重点目標および事業計画

～第8期介護保険計画「地域共生社会の実現に向けて」及び、白岡市高齢者福祉計画「地域包括ケアシステムの深化」の基本方針をもとに、R4年度の事業を推進する～

① 総合相談支援事業

＊ ＊相談事例から地域のネットワーク形成を図る

重点課題

- ① どこに、どんな高齢者が住み・・・各地域の一人暮らし高齢者と者々世帯、日中独居世帯、サービス利用者の洗い直し・・・要援護調査の集計などを活用
- ② そのニーズは何か・・・住まい・医療・介護・予防・生活支援のどこにニーズがあるか
- ③ 不足する社会資源の開発・・・制度・サービス・ささえあい・経済支援・コミュニティ
- ④ ネットワークの形成・・・日常的な連携方法・連携先リストと名簿・連携会議体の構築

重点目標

- ① 介護保険等運営協議会との連携・・・次期介護保険計画の準備・データの集約・課題抽出
- ② 行政機関各部署との連携・・・人材育成と業務・役割確認
- ③ 社会福祉協議会・保健センター・障がい基幹センターなどとの連携・・・人材育成と業務・役割確認
- ④ 白岡市医療介護福祉連携協議会の再結成・・・地域保健医療体制の整備
- ⑤ 地域サロン・通いの場・第2層協議体の構築・・・地域づくりネットワークの構築
- ⑥ 野牛・高岩・寺塚・白岡東・柴山・荒井新田・下大崎の各地区との連携・・・連携先の名簿作成

事業計画案

- ① 地域の基本データの収集と地域特性の把握・・・地域ニーズの抽出
；総合相談の集計データのリニューアル
；地域の基本データ（人口推移・世帯・介護サービス利用・認知症・障がい・生活困窮）
- ② 相談事業から社会参加事業への連携・・・地域サロン等の洗い直し
；大山地区・新白岡地区の新規サロンの立ち上げ準備
；新白岡地区の高齢者ネットワークの構築準備（第二層協議体設置準備）
- ③ 白岡市医療介護福祉連携協議会の再結成・・・地域保健医療体制の整備

② 権利擁護事業

＊ ＊権利擁護事業を通じて、高齢者の尊厳の保持、その人らしい暮らしの保障を構築する

重点課題

- ① 関係機関との協議
- ② ネットワークの形成
- ③ 住民の協力を得た情報の集約
- ④ 迅速な対応

重点目標

- ① 「異変の通報」からの対応の事例を積み重ねる・ ・通報・連絡からの時間的な経緯、その対応・内容の整理、関係者間の情報連携（連絡や協議を含む）の流れ、最終的な終結までの時間的な経緯
- ② 関係機関との連携の実績の集約・ ・福祉課・社協・民生委員など関係機関との連携が、どのように変化したか、より早期の対応・迅速な問題解決になっているかの検証、
- ③ サポートセンターとの連携・ ・
- ④ 事例検討会等の開催
- ⑤ ケアマネ対象の事例検討と早期発見の対策協議
- ⑥ 警察・消防との連携

事業計画案

- ① ケアマネ対象の事例検討と早期発見の対策協議
 - ；地域ケア会議の事前打ち合わせを活用して、改めて「権利擁護」を課題分析する
 - ；定期的な事例検討会の開催
- ② サポートセンターとの連携
 - ；事例の積み上げ
- ③ 虐待事例の洗い直し
 - ；データの集計整理・ ・ ・これまでの「事例」を改めて整理する

③ 介護予防事業

＊生活支援事業を拡大して、住民自ら支えてとなるような仕組みを作る。
介護保険予防サービスとインフォーマル（生活支援事業）との連携を構築

重点課題

- ① 予防プランの点検・・インフォーマルサービスの取り込み
- ② ケアプラン作成業務の見直し・・委託先事業所との協議、予防プランの委託費の検討
- ③ 第二層協議体の設置・運営
- ④ 生活支援コーディネーターの地域活動の支援
- ⑤ 通所B及び一般介護予防事業（通いの場の創造）の検討

重点目標

- ① 予防プランの実績検討・・成果は上がっているのか？ 何が不足しているか？
- ② ケアマネ不足の対策検討
- ③ 第二層協議体を、新白岡地区で設置運営する
- ④ 生活支援コーディネーターの地域事業を、SC主体の活動から地域へ広げる・・老福・コミセン・いきサポなどとの連携構築
- ⑤ 通所B及び一般介護予防事業（通いの場の創造）を次年度事業計画に盛り込む準備を開始する

事業計画案

- ① 第二層協議体の設置準備
；新白岡地区に第二層協議体を今年度内に設置する
- ② 地域活動の集約を進める
；地域活動団体の名簿と活動記録の整理
- ③ 通所B及び一般介護予防事業（通いの場の創造）を次年度事業計画に盛り込む準備
；資料収集と実践事例の収集
；高齢介護課との協議、運営協議会への提案

④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- **ケアマネ支援・医療介護連携・地域ケア会議を通じた政策提言
- **認知症事業・初期集中支援チーム・認知症カフェ・模擬訓練の実施

重点課題

- ① ケアプランチェック及びケアマネの資質向上対策
- ② 地域ケア会議の運用見直し・・政策提言までのフローがない
- ③ ケアマネ研修の方向性及び主任ケアマネの役割が不明
- ④ 白岡市独自の「医療介護連携協議会」が存在しない、したがって実務的な連携協議が進んでいない

⑤ 認知症対策の拠点医療機関が十分整備されていない

重点目標

- ① ケアマネ事例検討会、事業所訪問の再開
- ② 地域ケア会議の運営方針・事業計画の確認
- ③ 研修体制の見直し、「主任ケアマネ会」の位置づけ
- ④ 白岡市独自の「医療介護連携協議会」の再開
- ⑤ その中で「政策提言」の取りまとめ

事業計画案

- ① 地域ケア会議の運用見直し・・・政策提言までのフローを作成
；課題分析表の見直しと課題分類をリニューアルする
- ② オレンジ保健室の活動を推進する
- ③ 「医療介護連携協議会」の再開
；ケアマネ連絡会と主任ケアマネ会の再整備・・・事例検討などの定例化
；介護事業所（訪問系・通所系・施設系）の連絡会の再開準備
- ④ 認知症サポーターのスキルアップの仕組みを作る
；スキルアップ講座の開講
；認知症ケアの事例のまとめ

⑤ 任意事業

*ウエルシアハウスの独自の地域づくりを推進する

重点課題

- ① PCDA サイクルが十分に機能していない。
- ② 事業計画と事業評価の仕組みがないため、事業達成の成果が継続しない、地域に資源として定着しないという、財政的な費用対効果が不明確になっている。
- ③ 関係機関及び包括支援センター自身も担当職員の異動や改編が生じる。その結果、成果や実績が継承されないことで、すべての面でネットワーク形成に負の要因となっている。

重点目標

- ① PCDA サイクルに沿った運営を構築する
- ② 関係機関の担当者とその役割を明示し、名簿化する
- ③ 白岡市介護保険等運営協議会への参加を位置づける

- ④ 地域の特性・実態を把握するため以下の項目のデータを集積する
- ：地域ごとの高齢者の状況・・年齢別人口動態
 - ；世帯の実態・・一人暮らし世帯・日中独居世帯・老々世帯・介護を必要とする世帯・8050世帯・重層的な支援が必要となる世帯など
 - ：介護保険サービスの受給状況・・軽度者（要支援1・2、要介護1・2）の把握・通所 A/C の利用者状況・フレイル対象者の把握など
 - ：地域の社会資源の状況・・地域サロン・老人会・地区社協などの活動把握

事業計画案

- ① 「地域支援事業」の推進
 - ；生活支援コーディネーターを活用して、地域のサロンや通いの場を作る
- ② 介護保険計画の見直し作業
 - ；次期介護保険計画（第9期）の改正に向けて準備する・・計画の再点検
- ③ 地域サロン等への出前講座開催
 - ；西地区コミュニティセンター、老人福祉センター、いきいきサロンなどとの連携